

第1号

宮城県仙台  
向山高等学校

同窓会事務局

〒982 仙台市  
八木山緑町1-1  
TEL (022) 62-4130

# おもかけ

同窓会長  
五十嵐康洋

同窓会創設五周年を迎えるにあたってこの会報を発行することができたことはひとつ目の節目になりました。ここでなぜ会報を発行したかと言えば、ひとつには第一回卒業生のなかで大学へと進んだ人達が今年から社会人となつたことにより、今までのようく度々会うことができなくなってきたために、会員相互の連絡と交流の橋渡しをしようという目的で発行しようと思つたわけです。

母校では今年の春、八回生を迎えて、学校創立十周年に、そして、学校創立十周年に、そし

## 同窓会会報発行にあたつて

て今後の同窓会の発展に貢献していこうではありませんか。

今、我々同窓生が築き上げてきた伝統が、運動部・文化部を問わず、全国大会への出場や、全国コンクールでの入賞といった形で花開きつつあります。「君たちの歩みはすべて向山高校の歩みなのです。そしてそれは後輩がよりよくなっていくための布石なのです。」とおしゃっていた鎌本初代校長先生の言葉が思い出されます。我々の歩んできた道がそのまま学校の伝統として後に残っていくことができたことはひとつの節目になりました。

ここではなぜ会報を発行したかと言えば、ひとつには五周年を記念してというのもあります。もうひとつには第一回卒業生のなかで大学へと進んだ人達が今

のなかで大学へと進んだ人達が今またこの会報を発行することができたことはひとつの節目になりました。そこでなぜ会報を発行したかと言えば、ひとつには五周年を記念してというのもあります。もうひとつには第一回卒業生のなかで大学へと進んだ人達が今またこの会報を発行することができたことはひとつの節目になりました。そこでなぜ会報を発行したかと言えば、ひとつには五周年を記念してというのもあります。もうひとつには第一回卒業生のなかで大学へと進んだ人達が今またこの会報を発行することができたことはひとつの節目になりました。

同窓会創設五周年を迎えるにあたつてこの会報を発行することができたことはひとつの節目になりました。そこでなぜ会報を発行したかと言えば、ひとつには五周年を記念してというのもあります。もうひとつには第一回卒業生のなかで大学へと進んだ人達が今またこの会報を発行することができたことはひとつの節目になりました。

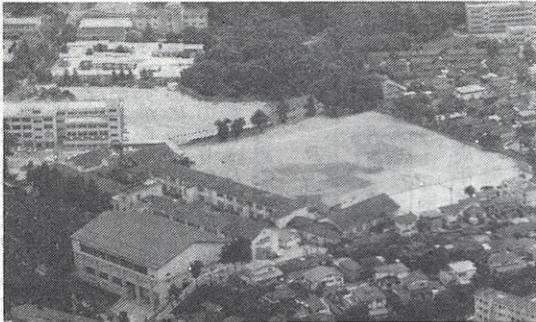
同窓会創設五周年を迎えるにあたつてこの会報を発行することができたことはひとつの節目になりました。そこでなぜ会報を発行したかと言えば、ひとつには五周年を記念してというのもあります。もうひとつには第一回卒業生のなかで大学へと進んだ人達が今またこの会報を発行することができたことはひとつの節目になりました。

まだ未熟な者があるので、同

窓会の活動も思うにまかせず、母校の諸先生方にまだ助言していただいている状態です。そこで最も大切なことは同窓生一人一人の協力が今後の同窓会発展につながるのだということです。

卒業生にとって同窓会はもうひとつの母校ではないかと思います。母校を愛するようにこの同窓会を愛してほしいと思います。

## さくら並木



高校時代の友人も然り。何萬という若者の中の一握りが一つの高校で出会う。人間が互いに影響しあうことの最も多いこの時期に出会った友人は、恐らく最も忘れないものであろう。現代では、数十年前のように、高校時代の友人たちは、それでも懐み多き時代、語り合い、励まし合った日々は忘れられないはずである。いずれ年月を経、若かりし日を回想する頃になると、そんな友人に無性に会いたくなるものなのではないだろうか。

向山高校が開校して今年で八年目になる。第一回生で四年大学に進学した者ももう社会人になっている。いよいよ青春時代の古巣から社会へ散っていくのである。ますます会いたい友人にも会えなくなっていくわけである。が、幸い私たちの同窓会にも会報が作られることになった。これから大海に船出し航海に疲れても、顧みる日々を残し、励ましてくれる友人をつなぎとめる、そんな役をこの会報が担つてくれるのではないだろ

# 同窓会創設五周年

前同窓会会长  
松本 進

「宮城県仙台向山高等学校同窓会会則」なるものを皆さんは御存知でしょうか。何しろ卒業間際の慌しい時期に配布されるような代物ですから、既に紛失してしまった方も多いとは思いますが、お持ちの方は是非一度目を通して下さい。わずか十三条からなる簡単な規定ですが、これは昭和五十三年の発足時「同窓会」という名称だけで実体の存在しなかつたも当然の時期に唯一の拠所となつた、いわば同窓会の原点なのであります。

さて、同窓会の歩みということですが、その一步は甚だ心許無いものでした。前記の如く会則だけはありました。がその他の是当然全くの白紙、役員会を構成すべき幹事するはずの幹事が就職等で参加不能なほど多忙だったり、県外へなってきました。それぞれの地域で活動可能なのは五名ほどという

状態でした。ですから、とにかく当面は会則が「毎年やるぞ」と謳っている総会だけでも何とかしなければならないということになり、一期生卒業記念碑除幕式と相成ったわけです。何しろ初めてという氣負いもあり、卒業生の気軽に集まる場にしよう、卒業生の消息を把握する絶好の機会だと、などなど、企画には相当苦心しまして、

終了後の反省会では一応当初の目的は達成できたということになりましたが、問題点もかなり指摘され、特に約三名にはがき一枚など

という連絡方法には不平不満が続出し、第二回からの変更を余儀なくされるような始末でした。さすがに第二回総会からは主催者側である役員が増加したこともあり、表立った問題点は少くなりましたが、その反面会を重ねるごとにマンネリ化の傾向が強まり、最近に至ってはまるで総会のための同窓会のようになってしまい、これもひとえに前会長の不徳の致ります。

ところで、これまでの同窓会は構造的な問題があまりに大きかったと思います。各卒業年次を代表離れ各地で活躍している方も多いです。前記の如く会則だけはありました。がその他の是当然全くの白紙、役員会を構成すべき幹事するはずの幹事が就職等で参加不能なほど多忙だったり、県外へなってきました。それぞれの地域で活動可能なのは五名ほどという

状態でした。ですから、とにかく当面は会則が「毎年やるぞ」と謳っている総会だけでも何とかしなければならないということになり、一期生卒業記念碑除幕式と相成ったわけです。何しろ初めてといふやうな形で、第一回総会兼第一次、ひいては会員の意見を反映しうることが必要不可欠であります。ですから、権限の過度の一元化などに陥ることのないよう

各年次の横の繋りの一層の強化を期待してやまないものであります。何やらとりとめのない内容にならざり

## 同窓会の足跡

### 同窓会事務局から

で、同窓会の中でその部分が完全な空白になってしまったケースです。少くとも同窓会が民主的な組織であるためには、役員会は毎年次、ひいては会員の意見を反映しうることが必要不可決であります。ですから、権限の過度の一元化などに陥ることのないよう、各年次の横の繋りの一層の強化を期待してやまないものであります。何やらとりとめのない内容にならざります。

同窓会創設五周年を記念して、今回同窓会会報を発行しましたが、今後は年一回の定期的発行になります。まだまだ内容的にも不充分ではございますが、役員一同尚一層努力をしていくことを願っています。

会員の方々の御感想をいただけましたら幸いです。

☆ あと一年で母校創立十周年を迎えるのですが、これを記念して同窓会では同窓会名簿を作成する計画を立てています。同窓会名簿は一朝一夕にできるものではありませんが、これを記念して同窓会の運営が生じてきます。そのためには会員の方の御協力を仰ぎたいと思います。(現在、住所が同窓会入会時と違う場合、またこれから転勤、結婚などでかかる場合は必ず同窓会事務室まで御連絡下さい。)

☆ 同窓会会員の方々で宮城県を離れ各地で活躍している方も多いです。前記の如く会則だけはありました。がその他の是当然全くの白紙、役員会を構成すべき幹事するはずの幹事が就職等で参加不能なほど多忙だったり、県外へなってきました。それぞれの地域で活動可能なのは五名ほどといふやうな形で、第一回総会兼第一次、ひいては会員の意見を反映しうることが必要不可決であります。ですから、権限の過度の一元化などに陥ることのないよう、各年次の横の繋りの一層の強化を期待してやまないものであります。何やらとりとめのない内容にならざります。

同窓会創設五周年を記念して、今回同窓会会報を発行しましたが、今後は年一回の定期的発行になります。まだまだ内容的にも不充分ではございますが、役員一同尚一層努力をしていくことを願っています。

会員の方々の御感想をいただけましたら幸いです。

☆ あと一年で母校創立十周年を迎えるのですが、これを記念して同窓会では同窓会名簿を作成する計画を立てています。同窓会名簿は一朝一夕にできるものではありませんが、これを記念して同窓会の運営が生じてきます。そのためには会員の方の御協力を仰ぎたいと思います。(現在、住所が同窓会入会時と違う場合、またこれから転勤、結婚などでかかる場合は必ず同窓会事務室まで御連絡下さい。)

☆ 同窓会会員の方々で宮城県を離れ各地で活躍している方も多いです。前記の如く会則だけはありました。がその他の是当然全くの白紙、役員会を構成すべき幹事するはずの幹事が就職等で参加不能なほど多忙だったり、県外へなってきました。それぞれの地域で活動可能なのは五名ほどといふやうな形で、第一回総会兼第一次、ひいては会員の意見を反映しうることが必要不可決であります。ですから、権限の過度の一元化などに陥ることのないよう、各年次の横の繋りの一層の強化を期待してやまないものであります。何やらとりとめのない内容にならざります。

同窓会創設五周年を記念して、今回同窓会会報を発行しましたが、今後は年一回の定期的発行になります。まだまだ内容的にも不充分ではございますが、役員一同尚一層努力をしていくことを願っています。

会員の方々の御感想をいただけましたら幸いです。

☆ あと一年で母校創立十周年を迎えるのですが、これを記念して同窓会では同窓会名簿を作成する計画を立てています。同窓会名簿は一朝一夕にできるものではありませんが、これを記念して同窓会の運営が生じてきます。そのためには会員の方の御協力を仰ぎたいと思います。(現在、住所が同窓会入会時と違う場合、またこれから転勤、結婚などでかかる場合は必ず同窓会事務室まで御連絡下さい。)

☆ 同窓会会員の方々で宮城県を離れ各地で活躍している方も多いです。前記の如く会則だけはありました。がその他の是当然全くの白紙、役員会を構成すべき幹事するはずの幹事が就職等で参加不能なほど多忙だったり、県外へなってきました。それぞれの地域で活動可能なのは五名ほどといふやうな形で、第一回総会兼第一次、ひいては会員の意見を反映しうることが必要不可決であります。ですから、権限の過度の一元化などに陥ることのないよう、各年次の横の繋りの一層の強化を期待してやまないものであります。何やらとりとめのない内容にならざります。

# 会報によせて



校長  
結城 幸太郎

つています。

五年目を迎えた生徒も約千四百名を数えるまでになったことは、誠に喜ばしいことではあるが、大部分の者は大学生、社会に出たとしてもまだ日浅く、充分に力を発揮するまでになっていないことは

先輩に統けとばかり各部門で大活躍していることには敬服しているが、間もなく迎える十周年に向けて、更に更に発展することを期待して同時に、同窓会紙初発刊にあたり、会員の諸君の猪一層の健闘と協力を願ってやまない。



校長  
初代

謙本 武男

同窓会員の諸君、いかが暮しておられましたか。母校の在校生の諸君も極めて活発に各方面で活躍しています。ところで母校という言葉は私にこんなイメージを想起させます。名実共に立派に発展してもらいたいと願う期待と、何時までも当時の面影を残し留めてほしいと願う気持ちが交錯して、いささか矛盾を感じている。懐しい母校という限りでは、少くともかつての自分をそこに思い起させた

昨日の晩秋、ある旧制の高校で

創立八十周年の記念祭が催された。

創立八十年といつても、戦後の学制改革で廃校になり、この学校が地上に存在したのは約五十年そこまでである。しかも戦時中の空襲

で校舎は灰燼に帰し、跡地は新制

大木の群が、確かに往時の夢の跡

## 同窓会五周年を記念して

を偲ばせるだけである。

その日は朝から雨であった。そ

の雨の中を全国から、遠くは台湾からも、千数百名の同窓生が馳せ

集った。式典は校歌で始まり、寮歌の齊唱で幕を閉じた。そして校庭に設けられたテントの中で酒を酌み交わし、青春の思い出を語り合った。この日のために新調した学生帽をかぶり、校章の入った木綿の紋付羽織を羽織っている人もある。みな老境を迎えた人、これから老境に入ろうとする人ばかりだが、帽子をかぶり、鉢巻きをきりとしめているために、白髪や残り少なくなった頭髪も目立つことなく、若い頃の面影だけがたちどころに浮んでくる。やあやあと再会の喜びの声が飛び交う。夕暮

の迫る頃には、雨に煙る校庭で型通りにファイアーストームの火がたかれ、引きつき、降りしきる雨の中を街頭行進の列がくり出

如何にも残念ではあるが、それも時日が解決すること、必ずや夫々の道で大成し大きな力となることを確信している。在校生の諸君も

先輩に統けとばかり各部門で大活躍していることには敬服しているが、間もなく迎える十周年に向けて、更に更に発展することを期待して同時に、同窓会紙初発刊にあたり、会員の諸君の猪一層の健闘と協力を願ってやまない。

していく。

いつてみれば、これは老人たちの大応援旗を高々とかげ、あの歌をせいぱいに歌いながら、歌を記す

この度、同窓会発足五周年を記念して、「会報」第一号が発刊されることはかつて母校があり、そこに

は多感な青春の一ときを共に過ごせた旧友たちがいる。誰が一体これ映ったかも知れない。しかし、そこにはかつて母校があり、そこに

ははかり知らないものがあろうとこれから二十年後、三十年後、この向陵の丘にも、このような感動的な風景が繰りひろげられる日があるまい。その時、えんじ

一人ひとりの心を結びつけることができるにすぎない。卒業生も未だ千名を越えたにすぎない。学校も若ければ

同窓生も勿論未だ若い。しかし、ここにはかつて母校があり、そこに

はやむなく近くのR喫茶店に移

り、編集会議を始めたのでした。君に深い敬意を表し、向山高校同

窓会の限りない発展を祈念して、

つある同窓生諸君の交流の場と

して、また緑濃き向陵の丘と諸君に深く祝福を申しあげたい。

## 『おもかげ』の由来

題字は「おもかげ」に決

出しの決定が主でした。

紙面の割りつけにも苦労しましたが、最後とも困ったのは題目でした。そのものズバリ「同窓会報」では面白くない、「ひかり」・「くれない」など案が二十ほどでしたが、どうもピンとこない。そのときY君が「『おもかげ』なんていいんじゃない

で大木の群が、確かに往時の夢の跡そこである。しかも戦時中の空襲で校舎は灰燼に帰し、跡地は新制大木の群が、確かに往時の夢の跡

がたかれ、引きつき、降りしき

る雨の中を街頭行進の列がくり出

## あの頃のこと

教諭 菅井 勝朗

あれから既に七年余になるのかと今更に時の流れの早いのに驚いております。最初に生徒二八七名をむかえての講堂での入学式が昨日のような気がします。

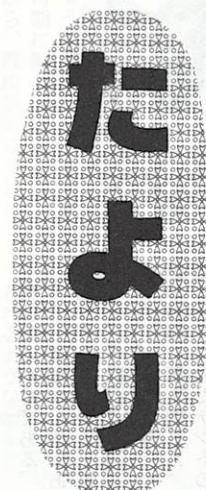
しかし実際は、第一回生が今春大学を卒業し、例えば、幾人かがわれわれ同様の教職に就いたことなど考えると、矢張り随分たつたのだなと思いません。他所へ移られた先生方もありますが、当時の先生方も大分おられて往時を語りながらも元気に頑張っております。

何といっても創設第一年目のことが特に忘れられません。六学級しかなくて、全クラスの授業において、全校生徒を知ることが出来るなどということは千載一遇の好機だただと思います。恐らく生涯二度とこんな経験をすることはなからうと思います。校舎が古かったり、設備が多少不足であっても、皆で十分手をつくせる規模の発足の方が遥に魅力でした。

路線敷きみたいなもので、忙がしい毎日ではありました、生徒と職員と一体になっての学校作りの意気込みは、いま思っても快いものでした。中学時代も含めて四年間も最上級生で過す第一回生はとりわけ闘争で创意に満ちた生徒であって欲しいと願いつづけました。

進学に、部活動に、最近の母校の目覚ましい活躍に同窓生も胸をのぞいて、机や黒板や、とにかく

## 宮城県仙台向山高校同窓会会報



### あれから七年過ぎました

第一回生 対馬こずえ

るか、周りを気にしながら、口だけパクパクさせて歌うふりをします。顔をあげて堂々と歌えるようになるまでは、とてもみじめな気持ちはあります。というわけで、いつも密かにひとりで練習していた私は、向山高校で出来たばかりの校歌を、これから多くの後輩に歌い継がれていくだろうこの歌を、が過ぎました。たまに仲間が集まると、きまってあの頃の思い出話

になります。その脳みそは、少しだらりとしている感じで、歌の中でも、一番最初に歌っているんだと感激した事を今でもとても新鮮に思い出されるのです。数多く歌った校歌の中でも、一番親しみを感じています。

何やらまとまりのつかない感じになってしましましたが、新しくなったと同時に、新しい方があまり増え、少しずつ変わった事は、やはりあつといいう間にその三年が過ぎていき、今、さらに四年が過ぎていきました。たまに仲間が集まると、きまってあの頃の思い出話をああだつたこうだつたと語つては、大笑したり、溜め息したりするのです。その脳みそは、少しも変わっていないようですね。

久し振りに学校を尋ね、教室をのぞいて、机や黒板や、とにかく

躍らせていることと思いますが、一年生だけでのぞんだ総体、野球

向陵祭、やはては初めての大受験競争など、あれが今日のための一粒の種だったのだなと思ひます。

母校はいま先輩の期待に応えておりまます。最初に生徒二八七名をむかえての講堂での入学式が昨日のような気がします。

母校はいま先輩の期待に応えておりまます。最初に生徒二八七名をむかえての講堂での入学式が昨日のような気がします。

母校はいま先輩の期待に応えておりまます。

## あの頃のこと

菅井 勝朗

躍らせていることと思ひますが、一年生だけでのぞんだ総体、野球、向陵祭、やはては初めての大受験競争など、あれが今日のための一粒の種だったのだなと思ひます。

母校はいま先輩の期待に応えておりまます。最初に生徒二八七名をむかえての講堂での入学式が昨日のような気がします。

母校はいま先輩の期待に応えておりまます。最初に生徒二八七名をむかえての講堂での入学式が昨日のような気がします。

母校はいま先輩の期待に応えておりまます。最初に生徒二八七名をむかえての講堂での入学式が昨日のような気がします。

母校はいま先輩の期待に応えておりまます。最初に生徒二八七名をむかえての講堂での入学式が昨日のような気がします。

母校はいま先輩の期待に応えておりまます。

躍進を重ねておりますが、更に同窓の皆様のご支援を得ることで一層発展することと確信いたします。

太郎です。

回す転校しました。ですから随分たくさん校歌を歌つたことになります。転入して初めての朝礼でその学校の校歌を聞く時は、いつも、へんな歌だなと思つたものでした。しばらくの間、「校歌齊唱」の時は、うつむいて黙つてい

## 俺の実習生活

第二回生 青砥 浩明

前略、向山高同窓生の皆さん元気ですか。俺は東北学院大土木工学科四年在学中です。相変わらず

学生以外の事に熱心で、多忙な日々を過ごしています。

昨年の夏は実習の為、同窓会総会に出席できず残念に思つてましたが、今回は会報発行との事で喜んでおります。実習は三年時必習で、俺は青森県下北半島の工事現場で一ヶ月間寝泊まりし、測量や現場監督の真似事などもさせていました。この工事は原油タンクの基礎工事で、完成はまだ先のことですが、実習を終えて帰路につく時に

現場を振り返り、自分もこれに携わったと思うと(実習生の俺のやった仕事は大きな工事から見ればほんの僅かな事だが)何故か体が震え、熱い気持ちになつたのです。本当に土木を選んでよかったとは思いました。大学に入学した頃は自分がこれまでに交換を深めたいとも思つて、そのままのままでした。その後は、昔の学級担任や、よくおられた先生、普段なかなか会えない友達と会つて昔をなつかしくることはとても楽しいことであります。そしてまたさらに交友を深めていく上で非常に大切なことであるとも思います。しかしそれだけでいいのでしょうか。毎年総会で先生方のなつかしい声を聞き

## 俺の実習生活

第二回生 青砥 浩明

前略、向山高同窓生の皆さん元気ですか。俺は東北学院大土木工学科四年在学中です。相変わらず

学生以外の事に熱心で、多忙な日々を過ごしています。

昨年の夏は実習の為、同窓会総会に出席できず残念に思つてましたが、今回は会報発行との事で喜んでおります。実習は三年時必習で、俺は青森県下北半島の工事現場で一ヶ月間寝泊まりし、測量や現場監督の真似事などもさせていました。この工事は原油タンクの基礎工事で、完成はまだ先のことですが、実習を終えて帰路につく時に

現場を振り返り、自分もこれに携わったと思うと(実習生の俺のやった仕事は大きな工事から見ればほんの僅かな事だが)何故か体が震え、熱い気持ちになつたのです。本当に土木を選んでよかったとは思いました。大学に入学した頃は自分が今までに交換を深めたいとも思つて、そのままのままでした。その後は、昔の学級担任や、よくおられた先生、普段なかなか会えない友達と会つて昔をなつかしくすることはとても楽しいことであります。そしてまたさらに交友を深めていく上で非常に大切なことであるとも思います。しかしそれだけでいいのでしょうか。毎年総会で先生方のなつかしい声を聞き

## 同窓会への期待

第三回生 木越 研二

私はときどき考えます。いったい同窓会とは何のためのものだろうか……。

私も楽しみにしている者の一人ですが、毎年一回同窓会総会が開かれます。まだ卒業して私自身、三年しかたっていないのにもかかわらず、昔の学級担任や、よくおられた先生、普段なかなか会えない友達と会つて昔をなつかしくすることはとても楽しいことであります。そしてまたさらに交友を深めていく上で非常に大切なことであるとも思います。しかしそれだけでいいのでしょうか。毎年総会で先生方のなつかしい声を聞き

るが過ぎました。たまに仲間が集まると、きまってあの頃の思い出話をああだつたこうだつたと語つては、大笑したり、溜め息したりするのです。その脳みそは、少しも変わっていないようですね。

久し振りに学校を尋ね、教室をのぞいて、机や黒板や、とにかく

変わつたところを見ます。その脳みそは、いま思つても快いものでした。中学時代も含めて四年間も最上級生で過す第一回生はとりわけ闘争で創意に満ちた生徒であつて欲しいと願いつづけました。進学に、部活動に、最近の母校の目覚ましい活躍に同窓生も胸をのぞいて、机や黒板や、とにかく

変わつたところを見ます。その脳みそは、いま思つても快いものでした。中学時代も含めて四年間も最上級生で过す第一回生はとりわけ闘争で創意に満ちた生徒であつて欲しいと願いつづけました。

進学に、部活動に、最近の母校の目覚ましい活躍に同窓生も胸をのぞいて、机や黒板や、とにかく

の卒業生を迎える会員数も千三百人を超えました。数年前「新設校、新設校」と言わざる卒業生さえいなかつたところには考えられない大きな会になつてきました。せつかくこれだけの規模になつてきたのですから、大きな組織でなければできないことをもつと考えていべきではないかと私は思います。

私は、同窓会の幹部がいたいどのような活動をしているのかわかりません。しかし、そろそろ学校のために、在学中の生徒た

めにもつと具体的に役立つ会になる必要があるのではないかでしょ

うか。我が仙台向山高校をよりよくするため影から応援してやらなければなりませんのではないでしょ

うか。毎年、高校總体があり、全国大会に出場する部もあり、さまざまな発表会もあり、そして離任式もあります。こういった行事、また学校の備品などへも同窓会と何らかの働きかけはできないものでしょ

うか。そういう働きかけをしてこそ、はじめて同窓会というものの意味があるのでないかと私は思います。

先日、我が大学に在学する向山高校出身者による第一回向陵会が開かれました。みんな向山高校をなつかしみ、向山高校出身であることを誇りに思っていました。みんなで考へて直す必要があるのでないでしょ

うか。アホな極楽トンボに写るらしい。

私も雰囲気に毒されたのか、倦怠期なのか、ボンヤリとしているのが多くなつた。がそれなりの誇りを持って通っているのに、学業の面でも足元にも及ばないのは何と

## 女子大の日々

第四回生 中村有貴子

向山高校を卒業し、ひたすらに国語を愛し（その国語の中で不得手が現れるのは恐ろしい）て宮城学院女子大学文学部（これしか学部がないのです）日本文学科に所属して、はや一年半になろうとしている。向山にも知人が少なく

なつたし、遊びに行きづらいな

と言いつつよく遊びに行っている

なあと思う。とにかく月日のたつ

のは早いものである。M・Gに入

つて最初に感じたことは、今さら

ながら『女子校だなあ』といふこ

と。何をするにしても動きが緩慢

で、うるさい。私もおしゃべりで

うるさいし、他の人より声高であ

るが、同じような人が学校中にあ

る。バス中にあふれているのである。

これは一種の恐怖で、私は三ヶ月

くらい、学校に行くのが恐ろしか

った。次に感じたのは、学校に対

する態度の違い。私は先天性の樂

天家で、自分の立場を『最高』と

すぐについ込むので、毎日喜々と

して学校に通っていたが、何と

月は少しひかえないとメシも喰え

っていました。一回千円（四千円

のコンバ費が、積もり積もって、

すでに三万円近くにのぼつてお

り合規税と思えば安いのですが今

月は少しひかえないとメシも喰え

いません生活になりそうです。

こちらでは医学部の準硬式野球

部に入り、目下二年の先輩とファ

ーストのポジション争いを演じて

いるところです。今年の東医体

（東日本の医学・歯学部を対象と

した体育大会）は東北大で開か

れるそうで、仙台でやるからには

レギュラーで出場し優勝したいも

のだとあります。

もくやしいことである。「これではいけない。何とかしなくては」

と思いつつ、何となく毎日が過ぎ

ることにもどかしさとあせりを感じる」

じる。「せめて、女子校特有の

動きの緩慢さ』だけは身につけ

まいと思い、「ああ、こんな文章

を学校の教授が読んだら、さぞ嘆

くだらうなあ、単位もらえないと

も……」などと思いつつ、ペンをお

くことにする。

大は関東医科リーグで春秋連続優

勝し、今春も完全優勝しました。

さて学生としてのメインは講義

なのですが……電磁気学、物理

化学、統計学は完全に分からなく

なりました。二年になれるか否か

五月病にならぬよう気をつけます。

## 筑波山麓にて

第五回生 佐藤 豊実

鎌本武男（校長）宮城一女高校

及川正六（数学）塙釜高校

佐藤健次郎（主事）仙教監事務所

岡崎庄蔵（保育）宮城二女高校

高橋雅武（化学）宮城一女高校

鈴木八重子（実習助手）退職

佐藤均（主査）亘理高校

牛田敏（国語）学務課

小野寺文雄（教頭）日本史）矢本高校

高梨興寿（業務員）死後退職

守谷昌久（数学）宮城三女高校

加藤隆（数学）矢本高校

庄子利也（保育）名取北高校

態谷等（事務長）宮城一女高校

山崎英毅（英語）仙台第二高校

多田久美子（家庭）宮城三女高校

高橋郁夫（国語）仙台第二高校

早坂玲子（主事）宮城三女高校

高橋孝太郎（主査）津川教育事務所

萱原勝志（英語）仙台第一高校

花卉弘美（国語）仙台第三高校

## 母校を去られた先生方

高橋義之（生物）県教育厅指導課  
下島俊雄（教頭、英語）鼎ヶ浦高校  
☆講師の先生方

社会II石澤孝・上村裕子・境田清隆・岸本智志・熊谷公男・神庭真二郎・鯨井千佐登

理科II伊藤寛・牛坂次郎・花田泰明・秋月直子

国語II加藤裕子・長谷川隆・山田吉郎

音楽II松坂有子・山内すみえ・岩沼容子・渡辺芳美

美術II庄司保志

体育II石川信雄

書道II中村より子

（順不同・敬称略）

以上が、我々のお世話をなつた先生方の御名前と現在教えていらっしゃる学校名です。懐かしい御名前がいくつもみられ、高校時代先生方と親しくしていただき、たのしかったことなどが多いおこされたと思います。

充分に気をつけてはおりますが万一御名前が漏れておりますときは御一報下さい。

尚、近況報告などありましたら是非お送り下さい。

練習は午後七時九時、ナイタ照明の下で火・木曜、そして土曜日は午前十一時から午後一時半まで、時間的にはきつくりませ

ています。分からぬなら、そ

れなりに勉強すればいいのでしょ

うが、目標が間近にならないとな

かなかできないものです。二年

になるとマウス・ラット、犬に猫更に

人間（死体）相手の実習が始まり

ますが今は高校の延長、せいぜい

五月病にならぬよう気をつけます。

本氣で心配しています。大学から

始めたドイツ語も、いきなり独文

和訳・和文独訳があり、もうまい

っています。分からぬなら、そ

草創期

初代主将 遠藤 盛一



初代顧問 下河辺行隆

月日が経つのは早いもので、我が母校が創立して七年が過ぎてしましました。今では「伝統ある向山高校」という言葉も時折耳にすることもあります。我がサッカーチームも同様に設立八年目というところになります。

全国高校サッカー選手権大会に出席し、最多出場を誇る徳島商を下すという快挙を成した本校サッカー部が産声を上げたのは昭和五十年四月十七日のことである。一年生ばかりが十六の部に登録

サッカー部は男のみ三四名の最も大きな部として誕生。(次いで自然科学部三四名、野球部二六名) 部を創るのだという建部の意気は高く、初代主将遠藤盛一君を選出、今後の練習方法等について話し合つ。放課後には、三日前授業を短縮し全校生で草取り、石拾いをした校庭に集合。基礎体力作りに専念、相手にしたボールは三個であった。(数日後、体育科より十個借用)

五月より松本コーチをお迎えし技術指導を受ける。同じ頃本校初の女子マネージャー四人が誕生。当時、運動部は中学校と練習試合をすることが多く、サッカー部も初の練習試合の相手は八木山中学校、一対三と苦汁をなめる。當時の日誌には捲土重来の志が書かれている。又、宮教大で練習する等、施設・設備の面でも苦しいスタートであったが、現在では常に優勝候補に挙るまでに成長した。

踏みしめて…

第四代主将 遠藤 正之

向山高校サッカー部は、創立三年目で県内ベスト四入り、次の年

は、サッカー部を作ったときは、サッカーゴールもなく、ボールは体育科から借りて練習したことは今でも覚えています。部員も半分以上は初心者で、毎日走ることと基礎練習だったと思います。初心者とはいっても、全員がサッカーに燃え「まず一勝しよう。」を合い言葉に、苦しい練習に耐え、敗けた悔しさを毎日の練習にぶつけていたようでした。また、部員全員の心は一つにまとまっており全員が全員が助け合い、かばいあつっていました。

現在、我がサッカー部は県下でも指折りのチームとなり全国選手権にも県代表として出場するほどになりました。我々OBとしては嬉しくなりました。我々OBとしては嬉しい限りです。今後も、部員全員の心を一つにし、すばらしい伝統を築き上げて欲しいのですね。同窓会の皆様の暖かい御協力を、お願い致します。

多出場の徳島商を破ることができたのだと、サッカー部一同が思っています。OBは、筑波・早稲田・日体大などの中央でプレーしている方々、地元でも、大学でプレー又は後輩の指導と、何らかの形でサッカーチームをしているようです。早稲田大学に行かれた宍戸先輩(三回生)はたるお手伝い。そして試合会場で

には準優勝、その後も必ずベスト四に残る有数の強豪となりました。選抜に選ばれました。これからは、向山高校サッカー部も、県内優勝から一つの枠を飛び越えた「全国制覇を目指し、その実績と発展を、私をはじめ多くのOBは期待しています。い練習に耐えてきて、やっとこのとで昨年優勝し、全国大会でも最

ばついくことでしょう。

クラブ訪問第一回は、五十六年

度

全国大会出場を成し遂げたサッカーチームです。

現在のチームは、三年生が引退して工藤勝己君をキャプテンに、二年生(七回生)十一人、一年生(八回生)一人、マネージャーの計二十三名で、ほとんどの部員がサッカーをするために向山高校へ入学したという人たちばかりです。この新チームの目標は十月の新人戦で優勝すること、そして、二年連続全国大会出場という大きな目標を持っています。また、すべての高校がライバルであるけれども、その中で特に東北学院高校をライバル校として練習に励んでいます。そのため、マネージャーの高梨圭子さんから見たチームは、以前より練習が活発になってきました。そのためか、マネージャーの高梨圭子さんから見たチームは、まとまりのある強いチームになつてほしいということでした。

最後に、キャプテンの工藤君から、先輩方へ今まで以上にご指導よろしくお願いしますということでした。

シリーズ

# クラブ訪問

## 第1回 サッカー部編



現顧問 庄司 伸一

昭和五十七年一月一日、私は国立競技場のスタンドで選手達の力強い行進を眺めました。選手達の顔はどれも輝いて見えました。

一回戦、最多出場回数を誇る徳島商に粘り勝ち、二回戦では帝京高校と対戦することになりました。前日、充分に作戦を練つたにもかかわらず、八対一の大差で破れてしまいました。しかし試合を終った選手達の顔には精一杯やつたという満足感があふれました。

何もかも初めての私達にとって

は、以前より練習が活発になつ

てきました。しかし試合を終つては、まとまりのある強いチームになつてほしいということでした。

最後に、キャプテンの工藤君から、

先輩方へ今まで以上にご指導よろしくお願いしますということでした。

方々の激励でした。全国大会出場

が決つてから参加までの同窓会か

らの物心両面にわたる援助。大会

期間中サッカー部OBの連日にわ

たるお手伝い。そして試合会場で

次回のクラブ訪問は、文化部の予定です。お楽しみに。

## サッカー部 第六十回 全国大会初出場

去る一月二日から開催された全国高校サッカー選出権大会に、向山高サッカー部が出場しました。その際に多くの方々から御寄付いただき、まことにありがとうございました。また会場で応援して下さった方々にも心から感謝申し上げます。以下、同窓会を通じて御寄付下さいました皆様の氏名を掲載させていただきます。(敬称略)

(二回生) 本郷和敬、猪股慎一、日黒康嗣、飯田俊一、掘下和洋、原淳子、大森恵子、斎藤幸子、伊藤優子、山田恵津子

山高サッカー部が出場しました。その際に多くの方々から御寄付いたしました。また会場で応援して下さった方々にも心から感謝申し上げます。以下、同窓会を通じて御寄付下さいました皆様の氏名を掲載させていただきます。(敬称略)

(一回生) 五十嵐康洋、松本進、岡本晃一、堀龍亮一、五十嵐彦、稲葉浩哉、高橋克彦、柴山昇、梶井直史、芳賀威彦、石川淳、江草東子、芳賀由紀江、川村真実、松本清美、佐藤郁美、昆布谷恵子、吉田雅之、山田直樹、伊藤智、扇壯史、片桐章、岡田晃一、堀龍亮一、五十嵐彦、稲葉浩哉、高橋克彦、柴山昇、梶井直史、芳賀威彦、石川淳、江草東子、芳賀由紀江、川村真実、松

小畠康弘、国分重信、岩泉茂、蓑輪卓志、板橋厚、吉田雅之、山田健一、高橋吉司、横田清志、平井克知、小野寺仁、佐々木保夫、佐藤勇人、加藤健也、佐藤啓典、扇英之、渡辺雄一、小形英雄、日下貴喜、井口秀一、庄子利幸、雨宮成紀、茂庭尚、吉田清、児玉省明、小室信一、西敏昭、成田弘志、平井義浩、及川敏、相沢茂、島影洋、内形康弘、金井純、岡本順、中野晃一、白井勝幸、大友彰、大坂直、大久保徹、大森高志、片山弘毅、佐藤真貴、菊地洋子、渡辺陽子、佐々木陽子、相沢和枝、関川郷子、高橋美恵子、佐藤良子、近藤朋子、対馬こずえ、高木麻美、渡辺裕子、山田まゆみ、工藤美弥子、小坂田裕子、沼田節子、(二回生) 及川牧、八坂秀一、今地和弘、佐藤廉、青砥浩明、加藤幸毅、二関雄一、林泰一、佐藤敏明、佐藤雅憲、桜井浩子(旧姓村)。

が丘競技場で行われた。対戦相手は、一月三日、東京の西

が丘競技場で行われた。対戦相手は、一月三日、東京の西

### 全国大会の様子



全国大会で健闘する向山インブン  
(対徳島商戦)

在校生だけでなく同窓生までが一丸となって応援していただいたことは、なによりも嬉しいことでした。同窓生の皆さま、サッカーチームに対する援助及び応援、本当にありがとうございました。

徳島はパスをうまくつなぎ、向山はシュートを振り回すスピードのある攻めで押して来る。向山は守りに徹し機を伺う形となつた。二十分台に、向山はシュートのチャンスをつかんだが惜しくも決まります。無得点のまま前半終了。

後半十七分徳島が鋭い攻撃で得点。二十五分黒沢がゴール前に入り込んだが、惜しくもクリアされてしまいます。そのまま前半終了。その後ハーフライン附近にいた伊香が約三十メートルのロングショートを放ち、相手GKの手を弾いて、みごとゴール左上に入り、一対一の同点となつた。結果同点のまま、PK戦に持ち込まれた。GK佐藤の好守備で四対三となり、向山は勝利をつかんだ。

二回戦は、一月五日、駒沢競技場において行われた。強豪帝京を相手に選手達は精一杯のプレーを繰り広げ、結果一対八と大敗を喫した。

後半六分に得点を許す。十九分伊勢からのパスを去田がシュートしたが決まりず、三十一分、三十五分、三十九分に一挙三点を奪われ、結果一対八と大敗を喫した。

後半六分に得点を許す。十九分伊勢からのバスを去田がシュートしたが決まりず、三十一分、三十五分、三十九分に一挙三点を奪われ、結果一対八と大敗を喫した。

その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。この結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

第五回戦は、全国大会というこの大きなステップを踏むため、伊勢から派遣される。その直後ハーフライン付近にいた伊香が約三十メートルのロングショートを放ち、相手GKの手を弾いて、みごとゴール左上に入り、一対一の同点となつた。結果同点のまま、PK戦に持ち込まれた。GK佐藤の好守備で四対三となり、向山は勝利をつかんだ。

二回戦は、一月五日、駒沢競技場において行われた。強豪帝京を相手に選手達は精一杯のプレーを繰り広げ、結果一対八と大敗を喫した。

後半六分に得点を許す。十九分伊勢からのバスを去田がシュートしたが決まりず、三十一分、三十五分、三十九分に一挙三点を奪われ、結果一対八と大敗を喫した。

は最多出場の徳島商である。前半はパスをうまくつなぎ、向山はスピードコンディションは最悪だった。前半帝京は速い攻めで、シュートを多発した。十六分帝京のシュート。GK佐藤が、泥に足をとられながらもパンチングしたが、及ばず、先制点を許した。続いて十九分にもシュートを決められる。

二回戦は、全国大会というこの大きなステップを踏むため、伊勢から派遣される。その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。この結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

第五回戦は、全国大会というこの大きなステップを踏むため、伊勢から派遣される。その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

私たちは、全国大会というこの大きなステップを踏むため、伊勢から派遣される。その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

伊勢から派遣される。その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

## 感謝のことば

第五代主将  
伊香 修司

伊香 修司

私たちは、全国大会というこの大きなステップを踏むため、伊勢から派遣される。その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

伊勢から派遣される。その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

伊勢から派遣される。その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

伊勢から派遣される。その結果、第六十回記念トーナメントで優勝を果たす。

## 昭和 57 年度予算書(案)

## 昭和 56 年度決算書

## 収入

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
1. 繰越金	142,727	110,491	32,236	前年度繰越金
2. 会費	972,000	984,000	△ 12,000	810 × 1,200 円
3. 雑入	5,000	5,000	0	預金利子
計	1,119,727	1,099,491	20,236	

## 支出

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
1. 総務費	350,000	325,000	25,000	
会議費	30,000	50,000	△ 20,000	役員会
総会費	100,000	0	100,000	総会補助
涉外費	30,000	10,000	20,000	来賓接待
消耗品費	0	50,000	△ 50,000	
通信費	0	80,000	△ 80,000	
事務費	130,000	55,000	75,000	事務用消耗品 印刷・通信費
慶弔費	60,000	60,000	0	会員等の慶弔
諸費	0	20,000	△ 20,000	
2. 事業費	760,000	740,000	20,000	
記念事業費	600,000	700,000	△ 100,000	記念事業資金 積立
卒業記念品費	40,000	40,000	0	卒業生への記念品代
会報費	120,000	0	120,000	会報印刷代・郵送代
3. 予備費	9,727	34,491	△ 24,764	
予備費	9,727	34,491	△ 24,764	
計	1,119,727	1,099,491	20,236	

## 収入

項目	予算額	決算額	増減	摘要
1. 繰越金	110,491	110,491	0	前年度繰越金
2. 会費	984,000	991,500	7,500	延3,305×300円
3. 雑入	5,000	14,988	9,988	預金利子
計	1,099,491	1,116,979	17,488	

## 支出

項目	予算額	決算額	増減	摘要
1. 総務費	245,000	201,552	43,448	
1. 会議費	50,000	43,752	6,248	役員会・総会
2. 涉外費	10,000	5,000	5,000	来賓接待
3. 消耗品費	50,000	39,900	10,100	事務用消耗品
4. 通信費	80,000	58,800	21,200	印刷・通信費
5. 事務費	55,000	54,100	900	事務用諸経費
2. 事業費	740,000	737,700	2,300	
1. 記念事業費	700,000	700,000	0	記念事業資金 積立
2. 卒業記念品費	40,000	37,700	2,300	卒業生への記念品代
3. 諸費	80,000	35,000	45,000	
1. 慶弔費	60,000	35,000	25,000	会員の慶弔
3. 諸費	20,000	0	20,000	
4. 予備費	34,491	0	34,491	
計	1,099,491	974,252	125,239	

上記収入支出差引残金 142,727 円次年度へ繰越

## 昭和 57 年度特別会計予算書

項目	収入		支出		
	項目	金額	摘要	項目	金額
1. 積立金	5,473,864	前年度まで 積立金	記念事業資金	6,372,229	定期 積立
2. "	600,000	昭和 57 年度 分			
3. 利子	298,365	積立金利子			
計	6,372,229		計	6,372,229	

## 昭和 56 年度特別会計決算書

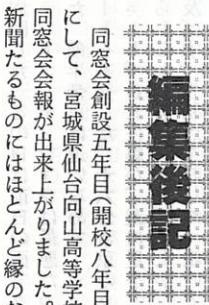
項目	収入		支出		
	項目	金額	摘要	項目	金額
1. 積立金	4,501,932	前年度までの 積立金	記念事業資金	5,473,864	定期 積立
2. "	700,000	昭和 56 年度 積立			
3. 利子	271,932	積立金利子			
計	5,473,864		計	5,473,864	

## 57 年度事業計画

57. 7. 17 役員会  
8. 21 総会  
会報発行  
58. 2. 28 同窓会入会式  
3. 1 第 6 回卒業式  
記念品贈呈

## 56 年度事業報告

56. 6. 27 役員会  
8. 総会  
12. 役員会  
12. サッカー全国大会出場カンパ集約  
57. 1. 22 役員会  
2. 27 入会式  
3. 1 第 5 回卒業式、記念品贈呈  
5. 会報編集



☆会報創刊、万里霧中、没没原稿  
鳴呼落涙、日日落胆、根性復活  
無我夢中、完成間近  
(一)は回生を表す。  
同窓会創設五年目(開校八年目)  
として、宮城県仙台向山高等学校  
同窓会会報が出来上がりました。  
新聞たるものにはほとんど縁のな  
い私達も、第一回目の会報に対す  
る意気込みから、「会員に読んで  
いただけのものを」と思い、五月  
から本格的に取り組みました。昨  
年度の同窓会担当菅原勝志先生を  
はじめ、今年度から担当になって  
いただいた横山先生や石川先生、  
そして会員の協力によって、今回  
の総会に発行することが出来まし  
た。改めて役員から感謝いたしま  
す。

構成的には多少の問題もありま  
すが、今後向山高校と会員、又は  
各会員間の交流の掛け橋となるこ  
とを希望します。

☆過去を振り返ることは簡単ですが、そこに自分の姿を思  
い浮かべることは、そう容易なことではありません。会員の方々・学  
校等の変化について、今後も会報  
に記載してゆくつもりです。みな  
さんの思い出づくりに役立つこと  
を祈ります。

い私達も、第一回目の会報に対す  
る意気込みから、「会員に読んで  
いただけのものを」と思い、五月  
から本格的に取り組みました。昨  
年度の同窓会担当菅原勝志先生を  
はじめ、今年度から担当になって  
いただいた横山先生や石川先生、  
そして会員の協力によって、今回  
の総会に発行することが出来まし  
た。改めて役員から感謝いたしま  
す。